

申請者	看護部	永田 智雅
23	行動制限に関する意識調査 - 老人性認知症疾患治療病棟におけるアンケート結果より -	
研究の概要	<p>当病棟は家庭や老人施設では対応困難な周辺症状を持った患者を対象とし、薬物療法や精神療法・日々に看護を通して周辺症状の軽減を図っている。認知症の老人は知的機能の低下により自分自身や周囲の状況判断が不適切になり、さまざまな危険に遭遇しやすく、患者が安全に日常生活を営む上で行動制限が避けられない場合もある。しかし、家庭や施設に戻るには、行動制限の段階的な軽減や最小化が必要になってくる。しかも行動制限の結果が事故に至らないよう、行動制限の解除や必要性について可能な限り正確に判断することが求められる。</p> <p>当病棟でも医師の指示のもとに行動制限が開始されるが、現実問題として看護師から医師サイドに要請して指示を仰ぐ場合もある。行動制限の目的や必要性が一致していない場合もあるが、それ以上に解除できる状況についての判断に、医師と看護師間に乖離が見られると考えた。先行研究に精神科における医師・看護師両者の意識を調査し、拘束に対する意識の特徴や類似点・相違点を明確にするものがあった。医師と看護師間で、意識の相違点を明確にすることによって行動制限最小化につながるのではないかと考え、拘束に関する意識調査を実施したい。</p>	
判定	承認	

申請者	看護部	山田 早苗
24	精神科外来において、初診時の検査説明にパンフレットを使用しての効果	
研究の概要	精神科外来に初めて訪れる患者及び付き添いの方の不安を軽減するために、予診から検査や診察に至るまでの流れをパンフレットで説明する。その後アンケート調査しパンフレットを使用しての効果を知る。	
判定	条件付き承認	本審査は、配布するパンフレットに病院名、住所、電話番号を記載することを条件に、全員一致で承認された。